

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年九月度 入選句（投稿総数千七百二十六句・一般投句数五百三十三句）

特選

選者 長野 美代子

盆の掛軸降ろせば風の変はりけり

大垣市

樋口 絹子

今年はとりわけ暑い日が続き、うんざりする日々でした。お盆の行事もすぎ常の生活にもどりほつとした最後に床の間の掛け軸を仕舞ふ。そんな折、すつと通り抜ける風に何か涼しさを感じた。そんな御句だと思ふ。読者にも同じように感じたと思ふ。さわやかな気持が伝わる佳句ですね。

だんじりを引く男衆町背負い

京都府城陽市

村松 秀一

前の句とは違いとても勇壮な御句ですね。テレビで見ても男性が力いっぱい体を張り、声を振り絞つてのお祭り。町をあげての行事です。下五の「町背負い」がこの句をぐつと引締め素敵な句に仕上げています。秀句です。

鰯雲旅程の表をそつと折る

大垣市

北島 暁子

空いつぱいの鰯雲を見ると心まで大きく息を吸いたくなります。そろそろ涼しくなり旅心も出て来ます。御夫婦での旅でしょうか。二人で旅程を確かめている様が目に浮びます。「そつと折る」が良いですね。

鰯雲が良くきいて秀句です。

秀逸

穏やかに秋光まわす観覧車

養老郡養老町

田中 秀子

指の先足の先まで盆踊

不破郡垂井町

児玉 信子

老いてなどをれぬ余生や大根蒔く

大垣市

村田 通夫

きのうとは違う風吹く今朝の秋

大垣市

坪井 克枝

川風があおる火の粉や鵜飼舟

不破郡垂井町

川瀬 慶泉

たおれても咲く向日葵のど根性

兵庫県西宮市

池内 東作

砂に足とられ銀河の尾に縋る

安八郡輪之内町

野村 照子

打水に叩きだされし日の句ひ

不破郡垂井町

高木 巧み

芒野は果てなき風の戯れと

岐阜市

堀江 美州

新涼や縁側で読む朝刊紙

兵庫県神戸市

紫 桔梗

入選

恙なき日やさゆらぎの酔芙蓉
古民家の三和土に虫のお出迎へ
打ち水により料亭の静まりぬ
夕風に草樹の匂ひ水を打つ
腕角力捲くる日焼の力瘤
一村の水の繋り虫送り
絡まりし蔓ゆるびをり風は秋
影さへもあらず生家や赤とんぼ
首筋に秋の来たるを知る朝
秋暑し切れ味鈍き羅紗鉢

養老郡養老町	田中	紫香
安八郡神戸町	早津	郁男
大垣市	福永	峰子
大垣市	佐竹	余史美
不破郡垂井町	富田	実郎
大垣市	今津	絹代
大垣市	岡田	あや子
大垣市	多和田	一徳
福井県敦賀市	山田	美千代
大垣市	野村	多佳子

入選

きびきびと海士の動き秋の艦
總がらみ火の粉鵜川を染めつくす
ドア開き虫が入り込む終電車
左手に夫不細工に梨を剥く
赤とんぼ日はいつまでも少年に
糠みそを抱へおろおろ油照り
水引の花のもつる風の谷戸
ひぐらしの声海に溶けゆく夕日
風呂を出て遊び足りない裸ん坊
蟬時雨法話のひざに子をのせて

大垣市	田中	雅子
不破郡垂井町	清水	るり
不破郡垂井町	久保田	紘義
大垣市	傍島	隆
長野県下伊那郡	長沼	まさし
静岡県藤枝市	山本	紫苑
千葉県千葉市	箕輪	恵三
埼玉県春日部市	西	すいむ
栃木県那須塩原市	久保田	山蛾
揖斐郡揖斐川町	栗野	みねお

選者吟

ひと処雲のほつれて秋夕焼

美代子